

薄暮時・夜間の交通事故防止について

日没が早まるこれからの時期は、夕暮れ時から夜間にかけて歩行中に車に はねられて亡くなる交通死亡事故が増加する傾向にあります。

蹇── ・歩行者が実践すること

暗くなってから交通事故に遭わないための重要な点は、

「目立つこと」です。

あなたから車は見えていても、ドライバーはあなたに気付いて いないかもしれません。「私はここにいるよ」と周囲に知らせる 対策が大切です。

① 明るい色の服装 ②反射材の利用

🤛 ・運転者が実践すること

前照灯の早め点灯と原則ハイビーム

○ライト4(フォー)運動

これからの時期は、午後4時以降に歩行者が車にはねられて 亡くなられる事故が多発する傾向にあります。

そこで、10月から翌年2月までの間、「**16時だよ!**

全員点灯」をキャッチフレースに、午後4時に前照灯を点。 打する取組みを展開中です。

- ○照射距離
 - ・ロービーム(すれ違い前照灯) 約40m
 - ・ハイビーム(走行用前照灯) 約100m

ハイビーム走行で、遠くから歩行者や自転車を発見できるとともに、逆に遠方から相 手に自分の存在を知らせることもできます。

ただし、前の車に続いて走っているときや対向車とすれ違う時は、ロービームに切り 替えなければなりません。



【高徳駐在所管内の発生について】

9月中に特異な事件事故の発生はありませんでした。

但し、商業施設やコンビニエンスストアの駐車場内での事故が多く 散見されていますので、引き続き交通事故並びに交通違反をしないよ う心掛けて下さい。



